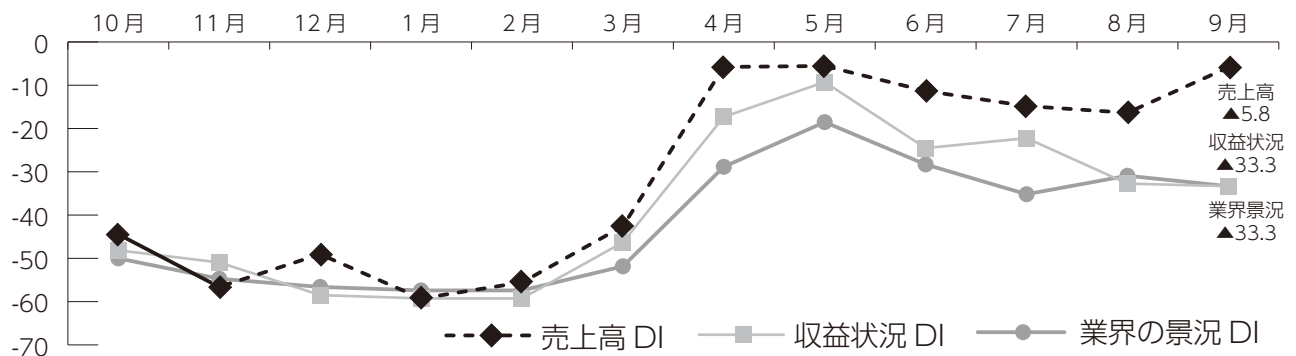


一部で需要の回復がみられるも、 仕入コストの増加により収益圧迫

概況

連休がありサービス業・小売業では人の動きに回復がみられ、感染者数の減少によりイベント再開への期待も高まっている。一方、自動車に関連する製造業では減産の影響により受注が落ち込んだ。また、多くの業種で原材料価格の値上がりにより仕入コストが上昇している中、価格転嫁が行えず収益状況が悪化した。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
製造業	食料品	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	繊維製品	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	窯業・土石	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	機械・金属	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☀	☁
	その他	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
非製造業	卸売業	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	小売業	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	商店街	☁	☁	☁	☁	☁	—	☁	☁
	サービス業	☁	—	☁	☁	☁	—	☁	☁
	建設業	☁	—	☁	☁	☁	—	☁	☁
	運輸業	☁	—	☀	☁	☁	—	☁	☁

減少悪化 ← ☁ ☁ ☁ ☁ ☁ → 増加好転

天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数 × 100

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>[パン] 緊急事態宣言下であり来客数は伸びなかったものの、気温が安定したため平年並みの売上となった。輸入材料価格の上昇に対して、現段階で目立った影響はないが、今後の影響を懸念している。</p> <p>[菓子] 敬老の日・中秋の名月・秋分の日が同じ週にあり多忙であった。しかし、材料仕入価格が上昇し収益を圧迫した。</p>
織 維 製 品	<p>[織物業] テキスタイルは厳しい状況が続くも、2022年秋冬用の展示会に向けて準備に余念がない。和装関連は京都での販売会を開催するなど、前向きな姿勢で取り組んでいる。</p> <p>[刺繍] イベント等が再開され、アパレル関係も少しずつ動き始めていると感じられる。しかし、コロナ流行前に戻った実感はない。</p>
窯業・土石	<p>[生コンクリート] 高崎・嬬恋・西毛地域では出荷量が上昇するも、東毛・北部地域の出荷量の落ち込みが続く。全体の出荷量は前年比で若干の落ち込みとなった。</p> <p>[碎石] 吾妻地域では工事量が多く、生コン骨材等の出荷量が増え売上・収益状況は好転した。一方、西毛・渋川・沼田地域は悪化しており、地域差が生じている。</p>
機 械 ・ 金 属	<p>[めっき] 取引先によっては売上高の好転がみられるも、東南アジアのロックダウンによる自動車減産の影響を懸念。また、金属・薬品の仕入価格の上昇に対して価格転嫁することが難しい。</p> <p>[機械金属（館林市）] 売上は増加したものの、鋼材の価格上昇を転嫁しきれていないため収益状況は悪化した。鋼材の品薄状態は解消されているように感じる。</p> <p>[自動車関連] 自動車メーカーが一様に生産調整を行う中、SUBARUは15日間の操業停止を行ったため、関連の下請企業は非常に厳しい状況に置かれている。一方で貨物自動車の下請企業は順調であったが、半導体不足・東南アジアのロックダウンの影響で受注減につながることを不安視している。</p>
そ の 他	<p>[紙製品] 今月から製造業の取引先を中心に活気がみられ、新規受注案件も増えており、好転の兆しを感じられる。</p> <p>[ゴム製品] SUBARUの国内工場の操業停止を受け、受注量が減少した。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>[各種商品（高崎市）] 一般消費者を対象にした販売イベントを規模を縮小した上で10月に開催する予定。開催は2年ぶり。</p> <p>[再生資源] 鉄屑はコロナの影響で発生量が減少し品薄状態にある中、鉄スクラップの国内需要が高まり価格は上昇。古紙についても回収量が低下し品薄状態となっている。</p>
小 売 業	<p>[燃料] 仕入価格上昇に伴い販売価格も上昇したため需要は落ち込むも売上増となった。10月についても仕入価格の上昇が見込まれ、販売価格の上昇が続く見込み。</p> <p>[家電] 高まっていた巣ごもり需要に陰りが見え始め、売上は減少した。</p> <p>[生花] 秋分の日・敬老の日の影響もあり中旬以降は多忙であった。通信販売についても、会えないから花を贈りたいという顧客で活況。一方、秋彼岸中は緊急事態宣言下であったため、遠方からの顧客の来客数は減少したとの声も聞かれた。</p>
商 店 街	<p>[高崎市] 緊急事態宣言下ではあったものの、以前に比べると日中の人通りは増加している。しかし、夜間は営業自粛している店舗も多い。感染者数は減少傾向にあるが、イベントの実施判断が難しい状況。</p> <p>[沼田市] 緊急事態宣言の延期と天候不順の影響で来街者は遠のく。10月より市内空き店舗に大型テレビモニターを設置し、地元企業や地域イベントの紹介等を行う予定。</p>
サービ 業	<p>[伊香保温泉] 宿泊客数は大幅に落ち込んだ昨年から更に悪化し、非常に厳しい状況が続く。連休だけは若干の動きがみられた。緊急事態宣言が解除後の行政支援施策に期待。</p> <p>[建築設計] 建築士事務所は1名から数名の建築士で構成されることが多く、建築士の高齢化を理由に廃業が増えており、今後もこの状況が継続すると思われる。</p>
建 設 業	<p>[電気工事] 業況に大きな変化はみられないが、コロナ禍をきっかけに廃業もしくは廃業を検討する企業が増加している。</p> <p>[鉄骨工事] 鋼材価格が高騰し、納入も長期化している。このため、受注単価と納期の適正化及び工程順守が課題となっている。</p>
運 輸 業	<p>[一般貨物運送業] 燃料価格が上がり収益を圧迫した。10月上昇するとの情報が入っており、経営に与える影響を懸念している。また、帰り荷の運賃が落ち込んでおり、庸車の手配にも苦慮する状況。</p>

※本調査は、情報連絡員55人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。